

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.1)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	整形外科	
入院予定期間	入院日	
	退院日	

月日	/	
経過	1 日目 入院日	
達成目標	- 手術について理解しましょう。 - 麻酔について理解しましょう。 - 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。	
治療	・特にありません。	
薬	- お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に 14 日分までお持ちください。 - 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。	
検査	・13 時から 16 時の間に麻酔科の診察があります。	
処置	・弾性ストッキングのサイズを測ります。	
活動	・制限はありませんが、30 分以上不在になる場合はお声かけ下さい。	
清潔	・シャワー浴を行い、手術部位を清潔にします。	
食事	21 時から食べられません。 24 時から水分を飲めません。	
説明指導	- 医師より手術の説明を行います。 - 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔について説明があります。 - 看護師より手術前後の処置や必要な物品、腓骨神経麻痺の予防について説明をします。 - 転倒・転落の危険性、予防について説明をします。 - 手術に使用する浴衣、バスタオル、T 字帯をご準備下さい。	



このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025 年 6 月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.2)

ID		診療科名	整形外科	
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	/			
経過	2 日目 手術当日(手術前)			
達成目標	手術の目的や、必要性を理解し、手術室に入る準備をしましょう。			
治療	手術開始が午後になる場合は、手術室に行く前に点滴を行います。 			
薬	医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。 			
検査	特にありません。			
処置	深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。 			
活動	特に制限はありませんが、病室を離れる場合は看護師に声をかけ所在が分かるようにしてください。			
食事	食べたり飲んだりできません。			
清潔	起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを行いましょう。			
説明指導	- 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。 - 貴重品（携帯・財布・指輪・時計・義歯・ネックレスなど）は金庫に入れてください。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025 年 6 月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.3)

ID		診療科名	整形外科	
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	/			
経過	2 日目 手術当日(手術後)			
達成目標	- 痛みや苦痛が強い場合は看護師へ伝えましょう。 - 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。 - 安静度の範囲内で行動しましょう。			
治療	- 術後点滴と抗生剤、鎮痛剤の点滴を行います。 - 酸素マスクをつけます。 - 尿の管が入っています。			
薬	手術後、薬は基本的に飲みません。			
検査	- 手術室でレントゲン撮影があります。 - CT を撮影してから病室に戻ります。 - 病室で採血をとります。			
処置	深部静脈血栓症の予防のため、術後は弾性ストッキングを着用します。			
観察	血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について観察します。			
活動	- 帰室後は酸素マスクが外れるまでベッド上で安静にし、必要時体の向きを変える介助を行います。 - コルセットを装着して移動できます。 - 腰をひねる動作はしないようにしましょう。			
食事	- 食事はできません。 - 水分は酸素マスクが外れれば水は飲むことができます。			
清潔	顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。			
説明指導	- 手術後、点滴・腰に入っている管が引っ張られたりしないように注意しましょう。 - 深部静脈血栓症予防のため足首の運動をしましょう。 - 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用します、遠慮なくお伝えください。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025 年 6 月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.4)

ID		診療科名	整形外科
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日
月日	/	/	
経過	3日目（術後1日目）	4日目（術後2日目）	
達成目標	・転倒予防について理解しましょう。 ・痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。		
治療	・朝、夕方に抗生剤の点滴があります。 ・術後2日目、夕方の点滴が終了したら点滴の針を抜きます。		
薬	・以前から内服していた薬は、医師が確認してからになります。 ・朝・夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 ・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。		
検査	・朝食前に採血をします。	・特にありません。	
処置	・傷の状態に応じて、必要時処置をします。	・状況をみて腰に入っている管を抜く可能性があります。	
観察	・血圧、脈拍、体温、傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。 ・腰に入っている管が曲がったり、抜けていないか観察します。		
活動	・装具を付けて歩行が可能です。 ・歩行が安定するまで看護師の付き添いで歩きます。 ・リハビリの時間以外も歩行出来たらストッキングは終了です。		
食事	・朝食より食事が始まります。		
清潔	・体を拭くお手伝いをします。 ・管が抜けたら創部を保護してシャワーに入ることができます。		
説明指導	・痛み止めの内服方法について薬剤師から説明があります。 ・術後の転倒予防について説明します。 ・深部静脈血栓症予防のため足首の運動をしましょう。 ・腰の管が抜けないう、ベッド柵に引っかかったり衣服の着脱時に引っ張られないように気をつけましょう。		



このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025年6月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.5)

ID		診療科名	整形外科	
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	

月日	/ ~ /	
経過	5日目（術後3日目）	6日目（術後4日目）
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・可動域の制限を理解し活動しましょう。	
検査	・痛み止めを内服してリハビリを行います。	
薬	・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。	
検査	・特にありません。	・朝食前に採血があります
処置	・傷の状態に応じて、必要時処置をします。 ・状況をみて腰に入っている管を抜く可能性があります。	
観察	・傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。 ・腰に入っている管が曲がったり、抜けていないか観察します。	
活動	・装具を付けて歩行訓練を行います。	
食事	・制限はありません。	
清潔	・体を拭くお手伝いをします。 ・管が抜けたら創部を保護してシャワーに入ることができます。	
説明指導	・腰をひねる動作や腰を曲げる動作は、再発のリスクが高いため、行わないようにしましょう。 ・術後、筋力低下によりバランスを崩しやすく転倒の危険性がありますので、歩行が安定するまで看護師と一緒に歩行しましょう。	



このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025年6月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.6)

ID			診療科名	整形外科	
氏名			入院予定期間	入院日	
生年月日				退院日	
月日	/ ~ /				
経過	7日目（術後5日目）		8日目（術後6日目）		
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・退院に向けて装具を付けて積極的に歩行しましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。 ・日常生活の注意点の説明を受けましょう。 				
治療	・痛み止めを内服してリハビリを行います。				
薬	・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。				
検査	・特にありません。				
処置	・傷の状態に応じて必要時処置をします。				
観察	・血圧、脈拍、体温、傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。				
活動	・装具を付けて歩行訓練を行います。				
食事	・制限はありません。				
清潔	・創部を保護してシャワーに入ることができます。				
説明指導	・腰をひねる動作や腰を曲げる動作は、再発のリスクが高いため行わないようにしましょう。 ・術後、筋力低下によりバランスを崩しやすく、転倒の危険性がありますので、歩行が安定するまで看護師と一緒に歩行しましょう。 ・リーフレットに沿って、退院後の生活について説明します。 ・日常生活に関しての注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。				

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025年6月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.7)

ID			診療科名	整形外科	
氏名			入院予定期間	入院日	
生年月日				退院日	

月日	/ ~ /				
経過	9日目（術後7日目）		10日目～12日目（術後8日目～10日目）		
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・退院に向けて積極的に歩行しましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。 ・日常生活の注意点の説明を受けましょう。 				
治療	・痛み止めを内服してリハビリを行います。				
薬	・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。				
検査	・朝食前に採血があります。 ・レントゲン撮影があります		・特にありません		
処置	・傷の状態に応じて、必要時処置をします。				
観察	・血圧、脈拍、体温、傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。				
活動	・装具を付けて歩行訓練を行います。				
食事	・制限はありません。				
清潔	・創部を保護してシャワーに入ることができます。				
説明指導	・腰をひねる動作や腰を曲げる動作は、再発のリスクが高いため、行わないようにしましょう。 ・筋力低下によりバランスを崩しやすく、転倒の危険性がありますので、歩行が安定するまで看護師と一緒に歩行しましょう。 ・リーフレットに沿って、退院後の生活について説明します。 ・日常生活に関しての注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。				

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025年6月作成

後方固定術（木曜日手術） 患者さんパスシート(No.8)

ID		診療科名	整形外科	
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	

月日	/
経過	入院 13 日目（術後 11 日目 退院日）
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・コルセットを付けて歩行しましょう。 ・退院後の生活について不安な事があれば、医師や看護師に聞きましょう。
治療	・リハビリを行います。
薬	・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。
検査	・特にありません。
処置	・傷の状態に応じて、必要時処置をします。
観察	・腰をひねる動作や、曲げる動作は医師の許可が出るまではしないようにしましょう。
活動	・歩行する際は、装具を付けてください。
食事	・制限はありません。
清潔	・創部を保護してシャワーに入ることができます。。
説明指導	・日常生活に関しての注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。 ・退院後の外来診察日について説明します。 ・退院日に忘れ物がないよう荷物を整理しておきましょう。お帰りの際に一緒に確認致します。 ・保険などの書類は退院日に本館 1 階受付（Aブロック）窓口に提出してください。 

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025 年 6 月作成

後方固定術を受けられた方へ

【退院後の生活の注意点】

食事について

- ・制限はありません。
- ・規則正しい食生活を心がけて下さい。

清潔について

- ・退院の際、創部にフィルムが貼ってある場合は、次回外来時に診察後がしますので、そのままシャワーを浴びて下さい。シャワーの際に腰を曲げなければならない時は、ゆっくりと曲げるようにして下さい。
- ・外来受診後、入浴の許可が出ます。フィルムが取れたら入浴は可能です。
- ・フィルムが貼ってある場合はこすらずやさしく洗って下さい。

運動について

- ・脚の筋力が低下していることがあるので、転倒に気を付けて生活して下さい。
- ・活動時は装具を装着して下さい。
- ・術後一ヶ月は医師の指示のもと安静を保って下さい。
- ・腰を曲げる動作は3か月間控えるようにして下さい。また、腰をひねったり、重いものを持ち上げる動作は医師の指示があるまで避けて下さい。

その他

- ・装具は医師の許可が出るまで装着をして下さい。
- ・医師の指示通り定期的に外来受診して下さい。

以下の場合を受診してください

- ・38度以上の発熱および、創部の腫れや痛みが続く場合。
- ・腰の部分にあたる、洋服や下着に血液や浸出液が付いている場合。

緊急時の対応について

- ・平日の8:00～16:30は整形外科外来、夜間休日は救急外来にて対応致します。
- 夜間休日に受診する場合は、予め電話にてご連絡をお願い致します。

日本医科大学付属病院 代表 03-3822-2131

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2025年6月作成